

第2回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和5年度 第2回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和5年10月13（金）14：00～15：33
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、村上曙生委員、大森成順委員、上野美智子委員、
永富靖人委員、野見山桂子委員、松田クニ子委員、大里理子委員
＊欠席委員 北川裕之委員、大野繁治委員、三船國弘委員、

（2）執行機関

財政課長 吉門幸一、財政課長補佐 田中ひふみ、行政改革推進係 太田野与香

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- （1）前回審議会の振り返り
- （2）第4次行政改革令和4年度実施状況について（審議）
- （3）外部評価の実施方法について
- （4）その他

【審議の内容】

（1）前回審議会の振り返り

前回の審議会の内容について、説明を行った。（事務局）

前回の審議会の内容に関する説明について、次のような質問及び意見が出た。

（委員）

・現在の財政状況は、予定通りのことなのか。

→交付税の段階的な縮減により交付税が減少することは分かっていたが、減少幅が予想以上であり、交付税に頼っている本市の財政状況においては非常に影響が大きい。

・令和5年度以降の財政運営に支障ないのか。

→基金を繰り入れないと、運営できない状況であり、令和6年度の予算編成においては、事業の縮小や廃止を予定している。

・法人税の税率について、嘉飯桂統一されているようだが、嘉麻市だけ税率を上げるなど考えられないのか。

→以前、企業誘致の一環として優遇措置を行っているのに、税率を上げるのはいかがかという話が出ていた。

・実施計画の目標値の修正について、今後も、今回と同じような理由で目標が達成できな

いということならば、修正を行ったほうがよい。他の項目についても、修正する必要がないか再度確認してほしい。

(2) 第4次行政改革令和4年度実施状況について

第4次行政改革実施計画の令和4年度実施状況について、資料に沿って説明を行った。

(事務局)

第4次行政改革実施計画の令和4年度実施状況について、次のような質問及び意見が出た。

(委員)

・項目21「土木作業業務の民間委託」について、取組状況が未着手となっており、計画に記載されている取組内容（先進地事例の調査）と未着手の理由が合っていない。

→現状、作業業務を行っている課が土木課以外にもあり、それらの課の土木業務を統合する計画があるため、令和4年度については統合の検討に時間を要したため、実施計画に予定していた先進地の調査等ができなかったということかと考えるが、ご意見のとおりである。

・項目26「社会体育施設の指定管理者の導入」について、現状（令和5年度）はどのような状況か。

→現段階では進捗していない。施設がかなり老朽化しており、大規模修繕などが必要となっているような状況で、指定管理制度を導入するにしても、まずは施設の修繕をある程度行ってからということになるため、指定管理者の導入の検討に至っていない状況である。

・項目28「公用車数の適正化」について、寄贈を受けた車両があるため目標達成できなかったということであるが、例えば、寄贈を受けた分、さらに削減するということではできなかったのか。

→計画的に入替えを行っているため、急に削減するということができなかったのではないかと考える。

・項目29「個別見直し計画の推進」について、具体的な内容が記載されていないが、施設の適正化は進んでいるのか。

→適正化は進んでいない。義務教育学校の建設等により、市債の額が増えてきている現状であり、施設を廃止するにしても除却にあたり多額の費用が発生する。将来的には、統廃合を行っていくべきであるとは考えるが、財政を圧迫することになり、現段階では実施が困難な状況である。合併後もっと早い段階で着手すべきだったのではないかと考える。

→他自治体では、合併に伴う補助金等を基金に積立て使っているという事例があるが、嘉麻市の基金の状況はどうか。

→現状では、類似団体と比較して基金残高は多いほうである。今年度以降継続して取り崩していくとなると、基金が枯渇するという、先が見えている話になる。

→現段階で、収支のバランスを整えていけば、なんとか経営がやっていけるという状況か。

→その通りである。

・項目31「市税・公共料金等のキャッシュレス化」について、QRコード決済率の目標よりもコンビニ・スマホ決済率の目標の方が高くなっているが、手数料の関係でコンビ

ニ・スマホ決済を推進したほうが、市の支出が少なくなるということで設定しているのか。

→確認し、次回審議会にて回答する。

→ポイントがつくことなどを考えると、支払いに係る不公平感が出たりする。

・項目34「働き方改革の推進」について、フリーアドレスを導入している部署はあるのか。

→導入している部署はない。

・時間外勤務が多い部署、少ない部署はあるのか。

→部署によってバラつきある。また、よくないことだが、人（職員個人）によってもバラつきがある。職場環境によることもあるのではないかと考える。

・残業は事前申請するようになっているのか。

→基本的には、当日の午後4時までには時間外勤務の申請を出すようになっているが、それが守られているのかは把握できていない状況である。

・守られていないとしたら、民間ではそれはとんでもないことで、仕事量を見て「仕事量に見合った残業をしてください」という命令をして残業をするようにしないと、上司からするとなぜそんなに時間がかかっているのかなど、仕事の改善ができないという状況になる。難しいことかもしれないけれど、きちんとやるべきである。

→現状、時間外勤務が非常に多い状況であり、財政を圧迫する要因にもなっている。ご意見を答申に盛り込みたいと考える。

・勝手に残業する人がいたりするので、民間であっても難しいところである。

・他の自治体で、終礼を行い、その中で時間外勤務についてそれぞれ報告するようにしたら、例えば上司が「それは明日でよいので時間外勤務をする必要はない」などと伝える機会となり、時間外勤務の抑制につながったという例もあり、係の中で仕事内容を共有するということがあってもよいのではないかと考える。

(3) 外部評価の実施方法について

外部評価の実施方法について、説明を行った。（事務局）

(4) その他

特になし

9. 配布資料

- ・令和5年度第2回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・山田庁舎及び稲築庁舎跡地利活用進捗報告（資料4）
- ・財政状況説明資料（資料5）
- ・浄水場に関する資料（資料6-1、資料6-2、資料6-3）
- ・ICT活用による効果額（資料7）
- ・外部評価の実施方法について（資料8-1）
- ・事務事業評価表※二次評価前（資料8-2）